

◎教育保育の基本・目標

自己を成長させていこうとする内的生命力を大事にし、各々の発達時期に合致した活動を行っていくなかで、教育的養護的配慮をしていく。

- (1)集中してやりとげる経験を繰り返すことで、自信・集中力・自立心を養う
- (2)自分で判断して行動することで、個々の意志・責任感・判断力を養う
- (3)興味のあることをとことんやることで、好奇心・探究心を養う
- (4)色々な体験を通して五感を磨くことで、思いやり・感性のある心を養う

◎本年度の重点目標

・安心・安全な環境作り ・職員研修の充実 ・職員間の連携強化

◎教育・保育内容等の自己評価

4：できている 3：おおむねできている 2：やや不十分 1：不十分

項目	内容	評価			
		4	3	2	1
子どもの最善の利益の考慮・子どもの理解	すべての子どもについて、一人ひとりの存在と人権を尊重している	4	3	2	1
	育ち、内面、個性、他者との関係性等の把握・理解に努めている	4	3	2	1
保育のねらい及び内容	発達過程に即したねらいや内容になるように努めている	4	3	2	1
	子どもの実態に即した保育の展開をしている	4	3	2	1
	子どもの主体的な遊び・生活となるよう配慮している	4	3	2	1
	体験の豊かさや広がりを中心にしている	4	3	2	1
	子ども相互の関わりや関係づくりを大事にしている	4	3	2	1
	集団における活動の充実を図っている	4	3	2	1
保育の環境（人・物・場）の構成	健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境の構成	4	3	2	1
	自己を十分に発揮できる環境の構成	4	3	2	1
	自発的・意欲的に関わられるような環境の構成	4	3	2	1
	多様で豊かな環境の構成	4	3	2	1
	活動と休息、緊張感と解放感等の調和がとれる環境の構成	4	3	2	1
	自ら周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境の構成	4	3	2	1
	状況に即した柔軟な環境の再構成	4	3	2	1
	子ども・保育士・保護者等の対話を促す環境の構成	4	3	2	1
保育士等の子どもへの関わり（援助・行動・言葉・位置・タイミング・配慮等）	地域社会の様々な資源の活用	4	3	2	1
	養護と教育の一体的な展開を図っている（乳児・3歳未満児・3歳以上児）	4	3	2	1
	子どもが安心感や信頼感をもてる関わりをしている	4	3	2	1
	個人差への配慮をしている	4	3	2	1
	家庭での保護者との関係や生活への配慮をしている	4	3	2	1
	環境の変化や移行への配慮をしている	4	3	2	1
	子どもの変化に応じた活動の柔軟な展開とその援助をしている	4	3	2	1
	子どもの主体的な活動を促す多様で適切な援助をしている	4	3	2	1
育ちの見通しに基づく保育	特別な支援や配慮を要する子どもへの関わり	4	3	2	1
	全体的な計画の作成	4	3	2	1
	指導計画の作成	4	3	2	1
	保育の記録のあり方及び活用	4	3	2	1
家庭との連携と子育て支援	行事の時期や内容の検討	4	3	2	1
	家庭の実態や保護者の意向の把握に努めている	4	3	2	1
	こども園の特性を生かした支援を行っている	4	3	2	1
	保護者との相互理解（情報の提供・共有や保育への保護者の参加）	4	3	2	1
	保護者の状況に配慮した個別的な支援を行っている	4	3	2	1
地域の保護者等に対する子育て支援	プライバシーの保護	4	3	2	1
	こども園の施設や機能の開放を行っている	4	3	2	1
	子ども・子育てに関する相談・助言や情報提供を行っている	4	3	2	1
地域における連携・交流	地域の多様な人々との連携及び交流	4	3	2	1
	自治体・関係機関等との連携	4	3	2	1
	小学校との連携	4	3	2	1
	他の保育所・幼稚園・認定こども園との連携	4	3	2	1
組織としての基盤の整備	組織及び保育の理念・目標・方針とその共有	4	3	2	1
	職員間の役割分担及び協力体制	4	3	2	1
	職員の勤務環境及びその管理状況	4	3	2	1
社会的責任の遂行	個人情報の取扱い	4	3	2	1
	苦情解決及び体制	4	3	2	1
健康及び安全管理	保健的環境・用品の確保及び整備	4	3	2	1
	子どもの健康や発育・発達状態等の把握に努めている	4	3	2	1
	食育の推進に努めている	4	3	2	1
	疾病・事故等の発生予防や対応、職員間の連携	4	3	2	1
職員の資質向上	災害への備え（避難訓練、備蓄品、緊急時対応等）	4	3	2	1
	職員同士が主体的に学び合う姿勢と職場の環境	4	3	2	1
	研修の機会確保と充実	4	3	2	1
	体系的な研修計画を作成している	4	3	2	1
	研修成果を共有・活用している	4	3	2	1
	評価の実施と結果を踏まえた改善を行っている	4	3	2	1
	保育内容等に関する実践研究を行っている	4	3	2	1

◎施設関係者評価委員の評価

4：できている 3：おおむねできている 2：やや不十分 1：不十分

評価内容	評価			
園の方針や教育保育内容が明確である	4	3	2	1
園児の体調把握や健康管理に努めている	4	3	2	1
事故予防、災害不審者対策など、安全管理に努めている	4	3	2	1
園内外が清潔に保たれているなど、環境整備に努めている	4	3	2	1
特別な支援を要する園児への取り組みを行っている	4	3	2	1
教育、保育の向上に向けた取り組みを行っている	4	3	2	1
園児の様子や感染症についてなど、情報提供を行っている	4	3	2	1
保護者、地域との連携した取り組みを行っている	4	3	2	1
園児について相談や情報交換できる体制になっている	4	3	2	1
子育て支援や預かり保育の体制が整っている	4	3	2	1

意見

・園内で感染症等が流行している時（しそうな時）は周知をお願いしたい
 ・子育ての悩みや相談ができていますので助かっている
 ・地域の方や保護者が参加できる場がもう少しあると良い（保護者同士の情報交換の場など）
 ・安心して預けることができていますので今後ともお願いしたい

◎総合的な評価結果

・活動内容の周知、情報提供を充実させていくことが必要であるため、工夫して行っていく。
 ・職員間の意見交換等を深め、更に充実した教育・保育を実践できるようにしていきたい。
 ・安全管理、危機管理はマニュアルに沿って行っている。職員全体にマニュアルが徹底されるように努めていく。避難訓練は毎月行い、園児の安全に対する感覚の育成に努めている。
 ・5年度より再開した未就園児親子教室は6年度も継続する。保護者からの子育て相談は多数お受けした。園児の家庭の子育てに対する援助や子育てに関する情報の提供にも力を入れ、個別の対応も丁寧に行っていきたい。
 ・園内外の研修を積極的に受講し園全体の教職員の資質向上に努めていきたい。

◎今後取り組むべき課題

- 保護者・地域との連携の強化
- 子育て支援・保護者支援の充実
- 教育・保育環境の充実・改善